

新居浜ロータリー会報

FEBRUARY
2020

2



「残寒の東平」

● クラブ基本方針
《'19 - '20》

足元を見つめ直し、ふるさとに貢献しよう

● 国際ロータリーテーマ
《'19 - '20》

ロータリーは世界をつなぐ

目 次	
年頭所感	4
職業奉仕功労者表彰	4
会員スピーチ（妻鳥孝行会員）	7
会員スピーチ（米谷方利会員）	8
私の独り言	9
傘寿を迎えて	9
喜寿を迎えて思うこと	10
古希雑感	10
日本の「ロータリーソング」について	11
例会記録・ニコニコBOX	12

◆◆◆◆◆ 2020年 1・2・3月例会と行事予定 ◆◆◆◆◆

1月（職業奉仕月間）		2月（平和と紛争予防/ 紛争解決月間）	3月（水と衛生月間）
2 日	特別休会	6 日 ・ 外部卓話（青少年） 「新居浜市小中学生 科学奨励賞発表会報告」	5 日 ・ 会員スピーチ 高橋英吉 ・ 情報雑誌
9 日	・ 会長年頭所感 ・ 内部卓話（情報雑誌）	13 日 ・ 外部卓話（人間尊重）	12 日 【夜間例会】18：00～ ・ 親睦家族会 ※曜日注意！
16 日	・ 家庭集会（18：30～） （元会長・現理事・副幹事） 副会計	20 日 ・ 家庭集会（18：30～） （クラブ奉仕・親睦・SAA）	19 日 ・ 地区研修・協議会報告 ・ 会員スピーチ 井石安比古
23 日	・ 会員スピーチ 妻鳥孝行 ・ 会員スピーチ 米谷方利	27 日 ・ RAC活動報告及び寄付金贈呈 （RACより社会福祉協議会へ） ・ 情報雑誌	26 日 ・ 地区研修・協議会報告 ・ 会員スピーチ 井石安比古
30 日	・ クラブ協議会（下期活動計画） （18：30～）	27 日 ・ IM報告 ・ 会員スピーチ 松尾嘉禮	26 日 ・ 内部卓話 新入会員（飯尾泰和） 新入会員（久米良樹）
11 日	・ 職業奉仕功労者表彰 外部卓話（職業奉仕）	15 日 ・ 内部卓話 ・ 新入会員（長田伸一郎） ・ 予算中間報告	15 日 ・ 内部卓話 新入会員（飯尾泰和） 新入会員（久米良樹）
11 日	・ 令和元年度新居浜市小中学生 科学奨励賞発表会（青少年）	15 日 ・ 愛媛第Ⅰ分区IM （リーガロイヤルホテル新居浜） 23 日 ・ PETS・DTTS （サンポートホール高松） 23 日 ・ ロータリー創立記念日 ・ 世界理解と平和週間（2/23-3/1）	15 日 ・ 地区研修・協議会 （サンポートホール高松） 19～22 日 ・ RYLAセミナー 21 日 ・ 4RCゴルフ（西条RC担当） ・ 世界ローターアクト週間

—— (2019 - 20年度) ——— 1 月中の出席成績 (平均100%)

区分 例会日	会員数	出席 会員数	欠席 会員数	当日 出席率	メーキャ ップ数	修正 出席率	来訪ロー タリアン
9日	64	51	13	79.69%	13	100%	0
16日	64	46	18	71.88%	18	100%	0
23日	64	48	16	75.00%	16	100%	0
30日	64	50	14	78.13%	14	100%	0
合 計	256	195	61		61		0 (カード 19)
平 均	64	48.75	15.25	76.18%	15.25	100%	累 計 (カード 39)

定例理事会報告

幹事 長 岡 一 路

日 時：令和 2 年 1 月 9 日(木) 12:00～
場 所：リーガロイヤルホテル新居浜
諮問人員：9 名

議題および内容

- 1) 首里城火災に対する支援金のお願いについて
- 2) 定款、細則などの改訂についての委員会

被選理事会報告

次期幹事 垂 水 辰 仁

日 時：令和 2 年 1 月 16 日(木) 12:00～
場 所：リーガロイヤルホテル新居浜
諮問人員：8 名

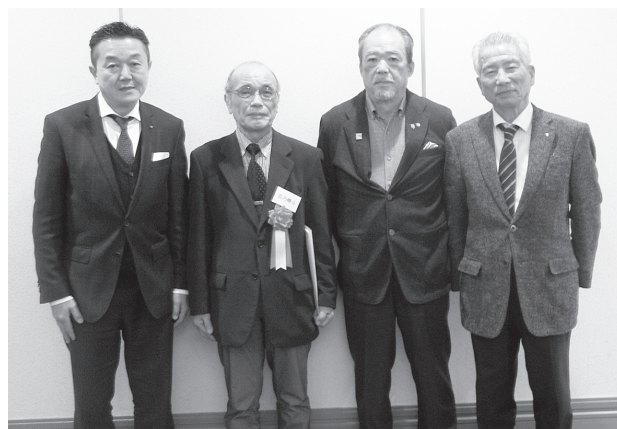
議題および内容

- 1) 次年度委員会編成表について

🌟 今月のこの瞬間 🌟



■ 2月6日 新居浜市小中学生科学奨励賞発表会報告 ■



■ 2月13日 外部卓話（芸乃樽斗様） ■

年 頭 所 感

会 長 青 野 正



令和二年の年頭に当たりご挨拶申し上げます。

本年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催される年で、国民にとっても記憶に残る年になると思います。

しかし、世界的には米国VS中国・北朝鮮・イランの諸問題、英国のEU離脱など、日本にとっても何れも軽視できない重要案件が目白押しの状況となっています。我が国の外交にとって大切な一年になると思います。

さて、上期に予定しておりました委員会の事業につきましては、各委員長のご努力と会員のご協力により予定通りに完結できたものと御礼申し上げます。

下期につきましても、上期に続きまして経験者の会員スピーチを計画させていただいております。すでにお願いいたしておりますが、どうかよろしくお願いいたします。

また、我がクラブの定款・細則などの表現文書は非常に解りにくく解読が困難と考え、委員会を構成し検討することを理事会において認可していただきましたので、中身を変えるという意味ではなく、読みやすく、理解しやすい表現に変えてゆくことを目指し、次年度にうまく引き継げることを目標に頑張りたいと思います。

また、現在のホームページが利用しづらいとの意見がありますので、検討させていただきたいと思います。

ふる里の子供たちに対する事業につきましては、いまだに結論が出ていません。理事の皆様とできるだけ速やかに方向付けをしたいと思いますのでよろしく願いいいたします。

何れにいたしましても、伝統ある我がクラブの名誉を汚すことなく、自分を見つめなおしながら、しっかりと会長職を務めさせていただきますので、会員の皆様方の大所高所からのご指導をお願い致します。

職業奉仕功労者表彰

新居浜市社会福祉協議会 児童施設課 藤 田 恭 子



このたびは、「職業奉仕功労者」として栄えある表彰をいただき誠にありがとうございます。

このたびの表彰は、私にとって身に余る栄誉であるだけでなく、職業人としての39年を振り返るよい機会となりました。

良き上司や先輩、同輩や後輩の皆さん、そして関係機関の皆様、たくさんの方々から多くのことを教わり、様々な経験をさせていただきました。今自分があるのは、その方々のお蔭だと思っております。本当にありがとうございます。

私は、昭和56年に新居浜社会福祉事業協会が新居浜市から委託を受けて運営しておりました、新居浜市心身障害者福祉センター障害児通園事業「はげみ園」の指導員を拝命いたしました。はげ

み園は心身に障がいをもつ子ども達がお母さんと一緒に毎日通い、その子が持つ残存機能が少しでも回復するように、遊びや機能回復訓練を通して療育を行うところでした。

最初、重度の障がい児に接するのが初めての私は、どのように接したらよいのかとまどいました。まず、その子にあった抱き方や、機能回復するための遊び方など先輩の指導員から学びました。平成元年には、かねてからお母さん方が熱望していた理学療法士が就任し、お母さん方は、毎日専門の先生に訓練してもらえると大変喜ばれたし、私も困った時など適切なアドバイスを受けることができ、安心して園児に接することができるようになりました。

園児達は、見る・聞く・触れるなどいろいろなことが刺激になるので、訓練だけでなく、季節の行事やキャンプ、旅行なども企画しました。いろいろな刺激を与え、その子なりにほんの少しでも

変化が現れた時が、私の一番の喜びであり、私自身のはげみになりました。

10年間はげみ園で勤務し、平成3年から心身障害者福祉センター作業訓練所に異動になりました。こちらの施設は、障がい者の方が毎日、作業を通して機能回復に努めるところです。作業は、市民の方から不要になった綿素材の衣類を頂き、ウエスを作ったり、洗濯ばさみの組み立てや座禅用の座布団作りなどが主な作業でした。これまで継続して行っている作業以外に訓練生ができる新しい作業がないかみんなで考え、そこで新居浜のお菓子工場へ何かさせていただける仕事がないか相談にいきました。ありがたいことに快く相談にのっていただき、お菓子を入れる箱の組み立てやゼリーのパッケージ入れなどの仕事をいただきました。訓練生達は、新しい作業にチャレンジし、できるようになると、とても楽しく作業していました。頑張った分が収入となり、季節の行事、旅行、買い物訓練等で還元します。それが訓練生の毎日の仕事のはげみになっていました。

この作業訓練所で10年勤務し、20年間、障がい福祉の分野にたずさわり、はげみ園児、作業訓練生、保護者の方、ボランティアの皆様から貴重な経験をさせていただき感謝で一杯です。

平成8年から、これらの事業が新居浜市社会福祉協議会所属になりました。

平成13年から2年間、施設課に勤務し、平成15年からは児童デイサービス事業所勤務になりました。この事業所は制度が変わり「はげみ園」がデイサービスになったものです。利用の仕方も変わり、対象も就学前の子どもになりました。新しく入園した園児のお母さんは、産まれた我が子に重度の障がいがあると告げられ、精神的につらい思いをされてはげみ園に来られます。笑顔もなく無口なお母さん。どう声をかけたら良いのか…職員が一番つらい時です。少しずつ少しずつお母さんにアプローチし、はげみ園の雰囲気にも少しずつ慣れ、また同じ思いをされているお母さん同士話をするうちに、少しずつお母さんの表情に変化が現れ、ある時お母さんから笑顔が…母子が帰られたあと、職員で「今日お母さん、笑ったね。」とみんなで喜びました。園児の療育だけでなくお母さんへの支援が重要です。園児のできる事がちょっとでも見えた時、また、元気なお母さんの笑顔が見えた時が私の、「頑張ろう」というエネルギーになりました。

平成18年は高齢者施設課 高齢者福祉センター

勤務になりました。朝、全員で体操をして1日がスタートします。看護師の健康チェックや健康相談、健康器具を使いながら世間話をしたり、カラオケ、舞踊、将棋などの自主サークルがあり、みなさん笑顔で元気に活動されていました。

高齢者の方のパワーに圧倒されつつも、自分もそのパワーをいただき1年間でしたが、毎日通ってきてくださる高齢者の方に会えるのが楽しみでした。

続いて平成19年に、児童施設課 児童館勤務になり現在に至ります。現在の勤務先である児童館について少し説明いたします。

児童館は新居浜市に、中央児童センター、川東児童センター、上部児童センター、瀬戸児童館と4館設置されています。平成18年度から指定管理者制度が導入され、新居浜市社会福祉協議会が管理運営しています。5年に一度申請があり今回で3回目です。引き続き指定管理が受けられるように頑張りたいと思います。

児童館は0歳から18歳未満のすべての子どもを対象とし、遊びの援助や子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とする児童福祉施設です。

この施設は、子どもが自由に来館し遊べる場所です。来館した子ども達に遊びの指導や援助を行います。夕涼み会、クリスマス会、もちつきなどの季節の行事を開催したり、異年齢で集団遊びや工作などを行う「あそびのひろば」を実施しています。

また、年間を通して登録して活動する登録クラブや随時自由に参加できるサークル活動を実施しています。

登録クラブは、遊びの体験を通して親子の豊かな関係作りやお母さん同士の仲間づくりを行う「2、3歳児親子クラブ」、遊びの体験を通して、運動機能や器用さの発達を促す「幼児、小学生体育工作クラブ」、ボランティア活動を通して自主性や自立性を養う、「ジュニアリーダークラブ」があります。

これらの登録クラブについては、3月に市政だよりで募集し年間計画に基づいて活動します。また、随時自由に参加できる「サークル活動」は、2歳児までの親子を対象に親子のスキンシップ、お母さん同士の友だちづくり、情報交換の場などの提供を目的として実施しています。

最初、新居浜市に乳幼児の子育て支援を行う場所があまりなく、児童館の親子クラブや幼児クラ

ブの応募が大変多く、定員をオーバーし、抽選をして登録しないといけない状況でしたが、最近では、地域子育て支援拠点施設がたくさん開設され、お母さん方の選択肢が増え、児童館への応募が減少して残念ですが、子育て支援が幅広く行われ、多くの親子がいろいろなサービスを受けられるようになりよくなりました。

小学4年生から6年生を対象としたジュニアリーダークラブでは、昨年から総合福祉センター別子山分館において別子山の歴史と自然を学んでいます。新居浜南高等学校ユネスコ部の生徒さんから「別子山の自然と環境保護」について、別子銅山の歴史を交えた説明をしていただきました。この事業は、小学生と高校生、別子山の自然環境保護に関わる地域の人たちとの交流も深めることができ、また自分達が生活している新居浜市が栄えてきた始まりを学ぶことができるので、今後も別子山分館と協力してこの事業を継続的に実施して発展させていきたいと考えています。来年は別子山の登山を計画しています。

また、児童館は「遊びの場所」だけでなく、「出前児童館」といって地域に出て遊びを提供する事業を行っています。小学校や公民館等で実施している「昔あそび」のイベントに出かけ、けん玉やこまなど、地域の高齢者の方と一緒に子ども達に指導をしたり、地域のいろいろな場所に出向き、レクリエーションや工作などの指導を行い地域の児童健全育成のお手伝いを行っています。子どものイベントで遊びが必要な時はぜひお声をかけてください。よろしくお願いいたします。

平成27年からは、中学3年生を対象に「いのちの授業」を実施しています。この「いのちの授業」は、中学3年生に、赤ちゃんとその母親とのふれあいを通して命の大切さや思いやりの心、家族や仲間の大切さを感じてもらうことを目的に、毎年中学校2校で実施させていただいています。

生徒達は、普段触れ合うことの少ない赤ちゃんに対し、とまどいを感じながらも最後には笑顔で赤ちゃんを抱いたり、あやしたりする姿がみられ、愛おしさや命を重さを感じたり、参加したお母さん方から育児の話を聞き、自分がどれだけ親に大

切に育てられたかということや、子どもを育てることの楽しさや大変さを教えてもらいます。

この事業は、赤ちゃん親子と中学校、地域の関係機関の協力が不可欠なので協力していただいている皆様にはいつも感謝しております。ありがたいことに協力していただいた関係者の皆様から、大変よい事業だと評価していただいておりますので今後も継続していきたいと思います。

大きなイベントとしては、4館の児童館合同事業として「にいほまやんちゃKIDS」を実施しています。平成6年から始め、今年で26回目になりました。このイベントは、最初「自然とのふれあい事業」からスタートし、現在はフェスティバル方式で実施しています。毎年、山根総合体育館において、児童館のオリジナルゲームコーナーや協力団体の遊びや体験のコーナーなどたくさん用意し、毎年たくさん子ども達やご家族の方に参加していただいています。高等学校や地域の関係機関や団体の方にご協力いただき、毎年盛大に楽しく実施することができています。

今、児童館の業務の中で一番難しいと考えることは、家庭や友人関係に悩みや課題を抱える子ども、子ども間でのいじめ問題、児童虐待、障がいのある子どもなど、配慮の必要な子ども達への適切な支援を行うことです。子ども達にこのような福祉的な課題があると判断した場合には、地域や学校その他相談機関等の社会資源との連携により適切な支援を行うことが必要ですが、「個人情報保護」などで、なかなか前に進まないこともあります。いかに支援していくか、どのように関係機関と連携していくかが今後の課題です。

全ての子どもの幸せのために、これからも地域の関係機関や地域住民の方と協力して、子どもの居場所となり地域の拠点となるように取り組みたいと思いますので、今後とも児童館業務へのご理解とご協力をお願いいたします。

また、新居浜ロータリークラブの益々のご発展と皆様のご活躍を心からご祈念し、謝辞とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

会員スピーチ

妻 鳥 孝 行



私の入会は平成2年6月7日で昨年12月にスピーチした高橋正明氏と同時に入会しました。

入会して30年になりますが、只々30年在籍しているだけでロータリーに関して皆様にお話できるような事はこれと言ってありません。

チコちゃんに「ぼーっと生きてんじゃねーよ」しかられる部類です。

それで、特に印象に残っていることをお話しして何とかこの場をやり過ぎたいと思います。

1) 入会時の事

私と高橋氏のスポンサーは現会長の青野正さんで平成元年の12月に青年会議所を卒業してました。

JC在籍当時、先輩から言われたことは「ハイ喜んでやります」と習慣づけさせられていましたから、尊敬する青野さんから言われれば、訳もわからず、ほぼ強制的に入会させて頂きました。

入会の1週間前のゲストで行ったのは泉寿亭での夜間例会でして、仲居さんに長い廊下を案内され、大広間ですぐに宴会となり、JCの先輩も居て皆様と楽しい時を過ごしまして、これならロータリーも何とかなるなと思いました。

青野さんから入会の際の助言は2つありまして、入会時の挨拶には「伝統と格式のある新居浜ロータリークラブ」は必ず言えと、もう一つ「千種会というロータリーの勉強会があるが、ロータリーを熱心に勉強する気があるなら入会したら良い、勉強する気がないのなら断れ」と、たしかその後、尾部さんか誰かに誘われましたが丁重にお断りしました。

当時の例会場は住友倶楽部で入会時の会長が明星譲さん、幹事が長岡道祐さんで、新入会員は演台に向かって左側の窓を背にした最前列でして6月7日に緊張して座って入会の挨拶を反芻してましたが、目の前が高橋利吉さん、隣が青野重馬さんその横が大見正敏さんで皆さん明治生まれの80代で、高橋さんは口をへへの字に曲げて猫背で上目使い、青野さんは前方をにらむような大きい目で姿勢正しく、二人共寡黙で、まあ歳も40歳違うのですから、この若造は何しに来ているのだとい

う感じてました。

あの時はロータリーに入会するのは5年・10年早かったと後悔しました。

この平成2年は住友倶楽部が8月までで、一時コープ会館その後リーガロイヤルホテル新居浜にと1年間に例会場が3か所変わった年でした。

2) 幹事

平成13年7月から会長が畑田達志さんで私は幹事を命じられました。

印象深い思い出としては8月頃三木先生から2人呼ばれて、12月17日の新居浜ロータリークラブの創立記念日を新居浜市の社会奉仕記念日にするよう市役所に掛け合ってこいと、唐突に寝耳に水のような事を言われまして、2人で相談し、9月に畑田会長と私で当時の伊藤市長に会いに行き、お願いしましたが、当然にそれは難しいと断られ帰って、また三木先生にも努力不足と叱られ、あれには参りました。

翌年三木先生が入院され会長幹事2人でお見舞いに行きました。4月に三木先生は亡くなくなりました。現在は三木先生のような厳しい方がいなくなり寂しい気もしております。

3) 青少年奉仕委員長

平成22年7月から会長が西本先生の時、青少年奉仕委員長を命じられまして7月6日に中学生弁論大会が文センの中ホールで行われ西本会長と私が出席し、表彰式も終わり最後の挨拶を西本先生が言われました。

発表者の中に、お父さんをくも膜下出血で亡くした子の話があり、西本先生が総評の中で、くも膜下出血は、たまに遺伝性もあるので、大きくなったら検診した方がいいよというような内容の話をされ弁論大会も終わったのですが、直後にある中学校の先生と思しき人が血相変えて西本先生に、「あなたがあんなことを言う生徒がショックを受けるはずだから謝れ」と強引に抗議してきまして、西本先生も人がいいので、その生徒に謝罪して事は終わったのです。

青少年委員会は10月に外部卓話があり講師の選定をユネスコの藤野先生に誰か適任者の紹介を頼んだところ、後輩に適任者がいると東中学校の校長先生を紹介して頂き、一応前もってお会いしてご挨拶をと、1週間前に東中学校に校長先生に会

いに行きました。

顔を見たら弁論大会で、あの血相かえた先生でして、もうビックリしましたが相手は僕のことは覚えていないようでしたが、例会日は西本会長と対面すると思うと、気が気でなかったのですが、当日西本会長が出張で代わりに副会長の井石先生

が会長代理で事なきを得ホッとした次第です。

それからは外部卓話を依頼した場合1月以上前にはご挨拶に行くようにしております。

以上が30年のだらだらロータリー活動で特に印象深い思い出でした。

会員スピーチ

米 谷 方 利



大学を卒業して9年間長野県伊那市でサラリーマンをしていた息子が、仕事の区切りの時期が来たので新居浜に帰って家業を継ぐというので了解しました。新潟生まれの嫁と、伊那市生まれの3歳の長男と3人で帰ってきて、無事に我が社に入社したのが6年前。

まず最初に、ゴルフをしたことのない息子を愛光ゴルフセンターに連れて行って、滝の宮クラブチャンピオンの赤尾氏に聞いたコーチに指導をお願いして、やっとこさ下手くそなゴルフから足を洗うことが出来ました。以来、息子はなかなか上達しませんが、得意先関係、業界関係、異業種交流会関係など土日はほとんどゴルフコンペですね。あきれるばかりです。

当時、国体のヨット競技の会場が新居浜に内定し、2010年3月以来、市内の有志の子供たちとジュニアクラブを作って地元選手を国体レースに出場させるための指導を引き受けていたので、そちらが忙しくなってきたゴルフどころではなくなっていました。およそ7年間、無事に国体少年の部の選手を育てることが出来、青年の部の補強選手の大活躍があつて、結構2位との差は厳しかったのですが、愛媛県がセーリング競技では天皇杯皇后杯をもらうことが出来ました。その際には、ロータリークラブの有志の方々に多額のご支援をいただきありがとうございます。この場を借りまして、心から感謝を申し上げます。その結果、全体では愛媛が国体総合2位になりました。

多少は貢献できたと思います。

運営の中心には愛媛県セーリング連盟の愛媛大学OB会、松山大学OB会が中心になり、新居浜ジュニアのお父さんお母さん方の協力と、新居浜市からの絶大な応援があつて大会は成功裏に終えることが出来ました。ちなみに、総合1位は東京都です。とてもかないませんね。

現在その当時の子供たちは大学生になり、次の世代が頑張つて練習しています。子供たちが乗るのは国体で使われる船と違って、オプティミストディンギーという長さが2.3m、幅1.14m、重さが30キロの一枚帆の箱型の船です。体重が60キロを超えると強い追い風で前から潜水艦のように沈んでしまいます。それでも子供たちが乗ると15メートルの風の中で帆走できます。現在のオリンピックセイラーのほとんどがジュニア経験者です。

国体が終わったことと、朝から晩までゴムボートに乗るのが体力的に厳しくなってきたのと、子供たちの指導を続けているとそのうちDVで逮捕されるような気がして、長らく一緒にやってきたお父さん方にコーチを任せて、相変わらず高松で小さいクルーザーに乗って若い仲間たちとぼつぼつレース活動しながら、新居浜では釣りにハマってしまいました。

息子が帰ってきたときに、5年で社長交代することを宣言していたので、昨年の6月に代表取締役会長になり、最初はラジオ体操に出ていましたが、社員がこちらを向かなくなったのを幸いに不定期出勤にしました。

これからも健康に気をつけてがんばります。

私の独り言

安 藤 賢 一



農家の長男として生まれ農業に励んでおりますが、私自身、本音を申し上げれば農業があまり好きではなく代々受け継いだ田地を守らなければいけないとの思いだけであります。過去には幾度も農家をやめようと考えました時期もありましたが思いとどまり現在に至っております。

数十年前までは耕作放棄も許されずしかたなく野菜などを育て市場に出荷しましたが、市況価格が安く採算がとれなく苦労を致しました。以後、社業も多忙となり野菜作りをやめて米作のみとしました。

米作は野菜作りに比べて日々の管理が大幅に軽減されて、社業と農業が上手く成り立ち気持ちにも余裕ができてまいりました。

私達の新居浜市は住友企業を中心とする企業城下町ですので、会社勤務をしながら農業をする兼業農家が大半であります。

そのような環境の中、農家の課題は将来の農業後継者であります。若い後継者は、農業に魅力を感じない、農業所得も見込めないなどで、しだいに農業から離れその結果、耕作放棄地が増加いたしております。

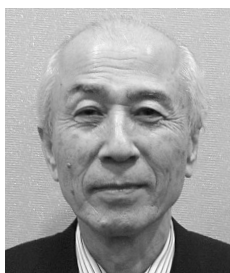
現在、愛媛県下には12JAがありますが、JA新居浜市は正組合員2,862名、准組合員9,885名、合計12,747名の構成であります。徐々に正組合員が減少を致しております。

自身、農業の魅力は何かと問われましたら答えるのに窮するのが現実であります。

今後、農業の将来を背負う農業後継者がどのような展望を描くのか、食の安全、安心をどの様に担保するかはこれからの重要な課題となります。

傘寿を迎えて

嶋 田 祐 二



私は兄弟の中でも、小さい頃から病弱でしたが長寿祝いの、傘寿のお祝いが頂けるとは、思いもよらないことでもあります。

私は広島出身でしたので昭和44年(1969)結婚、広島～東京～新居浜と居を構え、新居浜を第二の故郷と定めたのは、昭和48年(1973)のことです。

友人知人もなく、ヤクルトの後継として住み着いて、社会人として経済人として一からのスタートでした。

愛媛東部ヤクルト販売株式会社に30歳で入社、32歳で愛媛東部ヤクルト販売株式会社の社長に就任して経営に専念しました。社会活動として、初めにJCに入り、商工会議所、法人会、間税会、観光協会など、経済活動を通して徐々に経済人の仲間入りをして新居浜になじんで行きました。

本業のヤクルト経営に専念しながら1985年から16年間ヤクルト本社の取締役を兼任し、本生子

会社や、中四国ヤクルトグループの仕事など、東奔西走していました。

特に多角化経営の厳しさを体験したことで、本業の大切さを改めて知らされました。

長い歴史をひもとけば・・・。

ヤクルトは1964年台湾進出以来、世界各地に進出して世界のヤクルトに発展しています。

1968年サンケイアトムズの経営継承

1972年ヤクルト本社自社ビルの建設、(私の本社出向時代)

1980年にはヤクルト本社株式の上場、華やかなこともあった反面、ハウジング事業の挫折、無店舗販売事業の失敗、国内の販売会社が手掛けて、苦汁を味わったことは苦い思い出です。

趣味はスポーツなので、下手の横好きながら適度の運動と快眠、快便快食で健康が維持できたのかと思います。

部活で高校、大学でやったのは弓道のみで、スポーツはすべて就職して会社の同僚や、同好会で楽しんだものです。

広島東洋工業(現マツダ)で、エスキーテニス。サッカー。ソフトボール、軟式テニス(社内大会で団体優勝)、東京ヤクルト本社で軟式テニス、軟式野球(スワローズのお下がりのユニホーム)、ボーリング、ゴルフ、新居浜愛媛東部でソフトボール、卓球、ボーリング、ゴルフ、すべて秀でたものはありませんが、明るく楽しくやってきました。

現在はスポーツジムでストレッチはじめ気が向いたらヨガとか、健康管理に努めています。

家の裏の菜園作業、屋敷の草取りなど結構忙し

く、主婦業はまだまだ見習い段階です。

幸い3人の子供に恵まれ、長女は結婚して京都にいますが、長男、次男は高知ヤクルト販売株式会社、愛媛東部ヤクルト販売株式会社の事業承継を終え、会長として気ままに過ごしています。

次は2年後の家内の7回忌ですが、ここまで生かされたら8年後の米寿を目標にしたいと思います。

家内に、「遅かったわね」と言われるように健康で、楽しく悔いなき日々を過ごしたいと願っています。

今後ともよろしくお願いいたします。

喜寿を迎えて思うこと

永 田 光 春



新居浜ロータリークラブの皆さまには、喜寿のお祝いをしていただき、ありがとうございます。感激しております。

妻も、後1ヶ月待てば喜寿を迎えることが出来ました。が、- 時が来た - と言って仏の世界に行ってしまいました。その亡くなる日に、私が呼んでも反応がなくなった瞬間、私も同様に人生の区切りがついたような、今迄味わったことのない厳しさを感じました。55年の連れ合いが亡くなった私は、新しい人生の旅立ちのような気がします。

今までの私の歴史は後継者に渡し、あとは自分の命を少しずつ燃やし生活します。その時間に無上の喜びを感じる人間になりたいです。

私の友人達は、私では耐えられないような状況の中でも、何事もなかったように静かに明るく、そして元気に生活をしています。「すごいなあ。大人だなあ。」と“尊敬”します。私も見習い、元気に、明るく生きる決意をしている所です。

今後ともご指導をお願い致します。

令和2年1月16日

永田 光春

古 希 雑 感

明 星 元



「光陰、矢のごとし」とは、よく言ったものである。気がつけば今年の誕生日で満69歳を迎えることになる。所謂、古希である。古希という呼び名は、唐の時代の中国で詩人・杜甫によって詠まれた、『曲江』という漢詩の一節からきています。その詩では、「酒債は尋常行く処に有り 人生七十古来稀なり」とうたわれています。これは、「酒代のツケはどこに行ってもあるが、古来より

70歳まで生きる人はめったにいない」という意味です。これが日本に伝わり、「古希」の由来となったといわれています。

69歳になって、これまでの過去を振り返るとともに、さて、あと何年生きることが出来るのかを考えた時、平均寿命の言葉が浮かびました。厚生労働省の発表によれば、2018年における日本の平均寿命は、男性が81.25年、女性が87.32年であるとのこと。あと12年しかないのかと思いながらネットの記事を読んでいくうち、誤解に気づきました。平均寿命とは、その年に生まれた人が何

年生きられるかを示したもので、2018年に生まれた男性は、平均的に81.25年生きられることを意味し、あと何年生きられるかは、平均余命で示されるのです。69歳の平均余命は、男性が16.59年、女性は20.96年ですので4年ほど儲けた感じですか。

しかし、69歳は人生や健康面で変化があり、さ

まざまなことが起こりやすいと言われています。年齢的には古希も節目の年であり、健康に十分気をつけて1年1年を無事に乗り切らねばならないと思います。仕事も、遊びにおいても、やり残したことはまだあると思っており、在り来りではあるが、第二の人生を新たにスタートする気持ちで頑張っていきたいと思っています。

日本の「ロータリーソング」について

重 見 法 人



日本のロータリーソングが誕生した経緯についてお話しいたします。お話は昭和の初め頃まで遡ります。戦前は東洋(マニラや上海)のロータリークラブ(RC)は会員の大部分が欧米人で、ロータリーソングは歌詞も英語の西欧の歌でしたが、昭和5年(1930)神戸で開催された地区大会で、日本人だけのRCとして昭和4年に誕生した奉天RCが日本語のロータリーソングを創ることを提案し、採択されました。そうして5年後、募集によって集められた「日本語によるロータリーソング」の中から選ばれた新作4曲が、1935年(昭和10年)に京都で開催された地区大会で発表されました。第一位に当選した歌は、「旅は道づれ」でしたが、作曲で一部盗作があったという理由で失格になり、二位であった「奉仕の理想」が第一位に繰り上げ当選となりました。同じく第四位であった「我等の生業」は第三位となりました。この様にして、「日本のロータリーソング」で最もよく歌われ、かつ最も古い「奉仕の理想」と「我等の生業」は、誕生しました。

さて第一位に選ばれた「奉仕の理想」は、作詞が前田和一郎氏(京都RC会員)、作曲は萩原英一氏(東京RC会員)ですが、この「奉仕の理想」には、哀しい秘話があります。応募した歌詞は、一か所、語句の変更を余儀なくされました。初めて「日本語のロータリーソング」が作成された昭和10年(1935)頃は、次第に戦時色が濃くなってゆく時でした。「奉仕の理想」の元々の歌詞は、「奉仕の理想に集いし友よ 世界に捧げん我等の生業 ～」でした。しかし、当時のガバナーは、「世界に捧げん」を「御國に捧げん」に変更しな

ければ当選は無効、という通達を出しました。前田和一郎氏は、歌詞の変更は絶対認めないと頑張ったのですが、時代の流れには逆らえず、涙をのんで承諾したと言われています。その後、戦時中は全国のRCが解散を余儀なくされ、京都RCも昭和15年解散し、前田氏は解散時に脱会しています。そして戦後、京都RCは復活しましたが、前田氏は友人の誘いを断り、ロータリーには帰って来ませんでした。亡くなる前、親しい友人に「いつの日か「世界に捧げん」に戻して貰うと有り難い」と遺言を残されたといひます。

第三位の「我等の生業」は、作詞が高野辰之氏、作曲が岡野貞一氏でお二人とも東京音楽大学の教授ですが、二人ともロータリアンではありません。そればかりか、この二人は「ふるさと」をはじめ、「春の小川」、「春が来た」、「おぼろ月夜」、「紅葉(もみじ)」などでお馴染の唱歌の作詞・作曲の名コンビです。この二人がロータリーソングを作ることになった経緯については、よくわかっていません。

最後に、ロータリーソングとしての「君が代」が歌われ始めたきっかけについてお話しいたします。第二次世界大戦の開始前後、ロータリークラブは米国のスパイではないか、フリーメイソンの一味ではないかという疑いを持たれていました。そのような時代、日本が国際連盟を脱退した昭和8(1933)年のこと、「ロータリーは、アメリカに本部があるスパイの手先であるから、このような団体は、天皇陛下の御為にならない。従って、解散すべきだ。」とし、右翼の団体が京都RCに押し掛けてきたことがありました。時の京都RCの会長は、命がけて「ロータリークラブは決して、親米反日のクラブではない。毎週例会において心を磨き、世のため人の為に奉仕をしている団体で

ある。即ち、天皇陛下の御為にも奉仕活動をしているのである。」と説いたそうです。しかし、右翼はこれに納得せず、「天皇陛下の御為にも奉仕活動をしているのであれば、そのあかしを立てろ。」とせまりました。そして、翌週右翼が例会場へ来て見たものは、壁に掲げられた日章旗と、例会の初めに斉唱される国歌「君が代」でした。右翼は、「よし判った」と言って退散したということです。

このことが、日本全国のロータリークラブに知れ渡り、例会で国旗を掲揚し国歌を斉唱する事が右翼撃退に効果があるというので、この時から

ロータリークラブは、右翼に対する対応策として例会に国旗を掲揚し、「君が代」を斉唱する事が一般慣例となり、それが今日に及んでいるというのが通説です。当時は、例会の度に特高（特別高等警察）が来て、例会を監視したそうです。それだけに、1935(昭和10)年に制作された「奉仕の理想」の歌詞が、「世界に捧げん」から「御国に捧げん」に変更された時代背景も理解できる気がします。

なお、米国の通常例会では国旗は掲げてあるものの、国歌斉唱はないそうです。

例会記録

R 2. 1. 9 (第3269回)

開 会	青野会長	永田 光春君 (S19.10. 4)
来客紹介	加藤親睦委員長	一宮 捷宏君 (S19.11.20)
ゲスト なし		古希 明星 元君 (S26. 7.11)
来訪ロータリアン なし		
誕生祝 (1月)		出席報告 井石(安) 出席副委員長
新谷 隆則君 2日	神野 直正君 8日	定例理事会報告 青野会長
米谷 方利君 12日	青野 正君 21日	幹事報告 (ホームページに掲載) 長岡幹事
神野 勝太君 22日	金山 貴博君 23日	各委員会の連絡事項
年寿祝		ニコニコ報告 副SAA
傘寿 嶋田 祐二君 (S16. 9.19)		会長年頭所感 青野会長
喜寿 神野 勝太君 (S19. 1.22)		内部卓話 (情報雑誌) 重見情報雑誌委員長
桑原 征一君 (S19. 7.14)		閉 会 青野会長

R 2. 1. 16 (第3270回)

開 会	青野会長	被選理事会報告 小野(幸) 会長エレクト
来客紹介	西岡親睦副委員長	幹事報告 (ホームページに掲載) 長岡幹事
ゲスト なし		各委員会の連絡事項
来訪ロータリアン なし		ニコニコ報告 副SAA
結婚記念祝 (1月)		会員スピーチ ① 妻鳥孝行会員
米谷 方利君 2日		② 米谷方利会員
出席報告	井石(安) 出席副委員長	閉 会 青野会長

R 2. 1.23 (第3271回)

開 会	青野会長	ニコニコ報告	副SAA
来客紹介	山本親睦委員	職業奉仕功労者表彰	
ゲスト		紹 介	① 増田職業奉仕委員長
新居浜市社会福祉協議会児童施設課 課長			② 小野(正) 副会長
新居浜市立児童館 館長	藤田恭子様	表彰状贈呈	青野会長
来訪ロータリアン なし		受賞者挨拶・卓話	藤田恭子様
出席報告	近藤(基) 出席委員長	謝 辞	青野会長
幹事報告 (ホームページに掲載)	長岡幹事	閉 会	青野会長
各委員会の連絡事項			

R 2. 1.30 (第3272回)

開 会	青野会長	各委員会の連絡事項	
来客紹介	平尾親睦委員	ニコニコ報告	副SAA
ゲスト なし		予算中間報告	伊東会計
来訪ロータリアン なし		内部卓話 (新入会員)	
出席報告	長岡幹事	「スポーツ観戦の楽しみ/地域振興」	長田会員
幹事報告 (ホームページに掲載)	長岡幹事	閉 会	青野会長



(敬称略)

■ 1月9日

青野 正	あけましておめでとうございます。令和二年が良い年になります様に。	一宮 捷宏	この度、古里愛媛の振興に貢献したとして、名誉ある「愛媛新聞賞」(経済部門)を受賞致しました。後期高齢者になりましたが今後共、健康第一で微力ながら引続き貢献していければと思っております。今後共宜しくお願い致します。
長岡 一路	今年も皆様にとりまして良い年でありますように。後半もよろしくお願い致します。	藤本 毅	一宮様の愛媛新聞賞、東田印刷様の愛媛出版文化賞のご受賞、おめでとうございます。昨年は妹尾様も愛媛出版文化賞を受けられており、新居浜の経済・文化力の高さに感服しています。
嶋田 祐二	おかげさまでいつのまにか傘寿を迎えます。今後共、特にドクターの皆様にはお世話になりますが、お見捨てなく、よろしくお願い致します。	鈴木 誠祐	ニューイヤー駅伝で、息子がエース区間を走り、愛三工業は6位に初入賞しました。
神野 勝太	いつの間にか喜寿と呼ばれる年となりました。体に気を付けて頑張っていこうと思っておりますのでよろしくお願い致します。	長田伸一郎	本日、新聞各紙に当社のチラシを折
永田 光春	喜寿を迎えて、毎日できるだけ静かに生きる事に心がける。		
一宮 捷宏	喜寿を迎え、お祝いを頂きありがとうございます。字の如く、喜ばしい日々を送りたく思います。今後共よ		

り込ませて頂きました。表面のオヤジの写真より、裏面の女子社員の写真と記事に注目頂ければと思います。

青野 正 誕生祝

神野 勝太 誕生祝

金山 貴博 57歳になります。正月休み、妻に「老後の準備を…」と言ったら「遺言は何って書くの?」と返されてしまいました。(誕生祝)

新谷 隆則 62才になりました。65才までは現

役で頑張ります。(誕生祝)

米谷 方利 1月12日に満68才になります。まあまあの年令になりましたね。本年も宜しくお願いします。

永田 光春 BEST BOOK 2月号、何時もありがとうございます。

重見 法人 本日は、情報雑誌の担当の内部卓話をさせていただきます。今年もよろしくお祈いします。

近藤 利彦 (その他)

■ 1月16日

米谷 方利 S52年1月2日に結婚式を挙げて以来、43年経過しました。家内は大阪堺から来たので大変だったと思いますが、まずまずガンバってくれました。金婚式を目指して、仲良くして行きます。

桑原 征一 皆様、新年あけましておめでとうございます。先週欠席いたしましたので、本日が初めての例会出席です。今年もよろしくお願いいたします。

桑原 征一 本年、かぞえて77才、喜寿を迎えました。もう少し元気で頑張れそうです。

明星 元 60才代もあっという間に過ぎ、早や古希を迎える年になりました。これからは元気で頑張ります。

青野 正 小中学生科学奨励賞発表会欠席で長岡幹事に出席して頂きました。ありがとうございます。

西本 健 ボーッと生きていました。失礼しました。

小野 雄史 (その他)

新谷 隆則 あいテレビ「サンデーゴルフ」撮影立会いの為 (早退)

■ 1月23日

東田 桂典 一昨日、愛媛新聞主催の出版文化賞で受賞する事が出来ました。ありがとうございます。励みになります。

松尾 嘉禮 新居浜カントリー倶楽部SLコンペ(1月19日)GS組で優勝できました。

小野 正師 市社会福祉協議会 藤田課長様、本

日の職業奉仕功労者表彰、誠におめでとうございます。

増田 忍 藤田さん、本日は宜しくお願いします。

曾我部謙一 (その他)

■ 1月30日

伊東 省司 中間決算報告させていただきます。

長田伸一郎 本日、新入会員卓話させていただきます。貴重なお時間をいただき恐縮です。

近藤 奉文 長田さん、卓話ありがとうございました。サッカーで気合を入れてもら

いました。ありがとうございます。頑張ります。

村上 徹 先週ロータリー無断欠席をしました。ごめんなさい。

磯村 典秀 所用で早退いたします。申し訳ありません。

2019 - 20 年度

ニコニコ寄付金

1月 合計 32 件 132,000 円

累計 315 件 991,000 円

2019－20年度の入退会者

月/日	入 会	退 会	事 業 所 名	紹 介 者
7/11	平 喜彦		三井住友建設(株) 四国支店	鈴木 誠祐
7/31		藤田 真哉	(株)伊予銀行新居浜支店	青野 正
8/31		横川 明英	東予信用金庫	青野 正
9/12	丹 一志		住友共同電力(株)	一宮 捷宏
9/12	長田伸一郎		住友化学(株) 愛媛工場	鈴木 誠祐
10/10	久米 良樹		(株)伊予銀行新居浜支店	青野 正
10/24	飯尾 泰和		東予信用金庫	青野 正
計	5 名	2 名		

正 会 員 数
6 月 末 61 名
7 月 末 61 名
8 月 末 60 名
9 月 末 62 名
10 月 末 64 名
11 月 末 64 名
12 月 末 64 名
1 月 末 64 名

おのものの物そして心の両面の10%をささげ、
世界に平和と健康をつくりだす人を一。



PEACE・HEALTH & HUMAN DEVELOPMENT

PHD箱寄付金報告 (インターアクト委員会)

12月合計額 5,120円
2019-20年度累計額 32,176円
昭和57年5月13日スタート以降の累計額 1,750,690円

編集後記

先月ふれました新型コロナウイルス（COVID19）はこの1か月でますます蔓延し、世界を震撼させ、人のいい日本は最も危うい国になってしまいました。マスク・手洗い・うがいを励行して、自分を守ってください。

青野会長は年頭所感で下期に向けての展望を語り、定款・細則の表記の見直し、ホームページの改善に取り組む姿勢を示されました。職業奉仕功労者表彰は新居浜市社会福祉協議会の藤田様でした。障害児通所事業「はげみ園」・心身障害者福祉センター作業訓練所・児童デイサービス事業所では障害者とともにすごし、障害者だけでなくそのお母さん方に対する接し方に気を配ったこと、高齢者福祉センターでは高齢者にパワーをもらったこと、児童館では配慮の必要な子供たちへの適切な支援を行うことの難しさを痛感したことを述べておられます。長年にわたって福祉の仕事に携わってこられたことに頭の下がる思いがします。

会員スピーチでは妻島会員が入会当時のクラブの様子、幹事・青少年奉仕委員長をされた時のエピソードを語られました。米谷会員は新居浜が会場になった国体ヨット競技のことを、安藤会員は農業への取り組みとJA新居浜市のことを話されました。年寿のお祝いを受けた方を代表して傘寿の嶋田会員はヤクルト経営時代のことやスポーツへの取り組みを、喜寿の永田会員はなくなった奥様をしのびつつ明るく生きる決意を語っておられます。古希の明星会員は「古希」の由来について述べて第二の人生を新たにスタートする決意を書かれています。皆様方、健康に留意されて頑張ってください。重見会員の内部卓話は日本のロータリーソングが誕生した経緯、「君が代」を斉唱するようになったいきさつについて情報雑誌委員長ならではの語りでした。

例会場 リーガロイヤルホテル新居浜
事務所 リーガロイヤルホテル新居浜

会 長 青 野 正

例会日（木曜日）12:30～13:30
〒792-0007 新居浜市前田町6-9
TEL (0897) 34-6767 FAX (0897) 35-1321
ロータリー口座 伊予銀行 新居浜支店 普 4093994
幹 事 長 岡 一 路

表紙写真提供：新居浜市観光協会

この会報誌は環境保全・森林保護のため再生紙を利用して発刊しております。

- 発行所 新居浜ロータリークラブ 会報委員長 鈴木 誠 祐
- 印刷所 東田印刷株式会社